特定開発事業温暖化対策計画書の概要一覧

【平成30年度】

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要					温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※１												特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	届出の状況	
					特定開発事業を行う区域の面積（㎡）	予定建築物の概要				エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電		太陽熱利用	風力発電	バイオマス発電・熱利用	水力発電	温度差熱利用	その他									変更届	完了届等
						棟番号	用途	延べ面積（㎡）	備考							定格出力（kw）						潜熱回収型給湯器	LED照明設備	ヒートポンプ給湯器	その他設備※２	検討なし					変更（予定）年月日及び変更事項※３	完了（中止）年月日
001	ベイシア三浦店	三浦市初声町下宮田字長作５の２の一部及び５の16	株式会社ベイシア 代表取締役 橋本　浩英	三浦市の地域の活性化に貢献し、特定開発事業者の商園の拡大が図れる好適地である当該地に、周辺環境に調和したスーパーマーケット商業施設（スーパーマーケット）の建設を目的とした事業である。	14,921.55	1	物販店	7,141.10	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階 建築面積 5,381.44㎡	・庇を設け日射負荷を抑制した。 ・高効率型の空調機器を設置しエネルギー使用量を抑制した。 ・電気CO2冷媒給湯設備を設置しエネルギー使用量を抑制した。 ・LED照明を採用しエネルギー使用量を抑制した。	・緑地を設け、地表面の温度上昇を抑制した。 ・三浦市まちづくり条例の基準（6%）を超える緑化を行った。（6.39%、954㎡）	・必要な駐車場、駐輪場を設置した。 ・周辺交差点の交通量調査を実施して周辺交通に与える影響の少ない誘導経路を設定した。 ・一般及び来客交通のピークに重ならないように搬入車両の運行を計画した。 ・アイドリング停止看板を駐車場内に設置した。 ・駐車場内の駐車枠及び車路を広めに取り駐車しやすくした。	・緩衝緑地帯として、接道部分に緑地帯を設けた。 ・三浦市まちづくり条例の基準（6%）を超える緑化を行った。（6.39%、954㎡）（再掲）	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・アイドリングストップを励行した。 ・グリーン調達を積極的に実施した。	△		△						●	●	△コージェネ ●高効率空調設備		棟番号1 ・総合評価 ★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 70%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0以上	棟番号1 ・総合評価 ★★B- ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 75% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア1.5	2018/8/1	2019/2/28	2019/3/27 区域の面積 棟番号 延べ面積 建築面積 措置の内容	2019/4/22
						合計		7,141.10																								
002	（仮称）厚木市下依知計画	厚木市下依知字中河原710他	合同会社厚木下依知開発 代表社員 株式会社フジタ 職務執行者 増山　祐一	物流倉庫建設のため	18,966.39	1	倉庫	17,740.88	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上2階 建築面積 9,382.21㎡	・建築物における高効率なエネルギーの利用設備の導入を図った（LED照明設備）。 ・屋根を二重葺き折板（t100　グラスウール10kg/㎥充填）とし、断熱効果を高めた。	・中木を中心とした植栽を計画することにより、日陰を確保し、気温の上昇を抑制した。 ・神奈川県土地利用調整条例により緑化面積を開発区域面積の25%以上確保した。（4,743.47㎡：25.01%）	・事業の目的・用途に応じた適正規模の駐車スペースを確保した。 ・駐輪場を各エントランス付近に設置した。（各30台）	・神奈川県土地利用調整条例により緑化面積を開発区域面積の25%以上確保した。（4,743.47㎡：25.01%）（再掲） ・造成法面等、改変個所において、神奈川県土に適している中木のかなめもちを敷地全体に積極的に植栽し、統一感のある雰囲気を創出した。	・アイドリングストップ等の省エネ運転・機械操作を徹底した。	△		△						●		△コージェネ		棟番号1 ・総合評価 ★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 80%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5以上	棟番号1 ・総合評価 ★★★★A ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 77% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0	2018/3/1	2019/6/15	2019/4/3 延べ面積 建築面積 措置の内容	2019/6/25
						2	駐輪場	18.2	アルミニウム合金造 地上1階 建築面積 9.10㎡																							
						3	駐輪場	18.2	アルミニウム合金造 地上1階 建築面積 9.10㎡																							
						合計		17,777.28																								
003	（仮称）機械システム新工場新築工事	大和市中央林間七丁目1742番23　ほか1筆	三機工業株式会社 代表取締役社長執行役員 長谷川　勉	新工場の建設	10,983.91	1	工場	7,592.32	鉄骨造 地上2階 建築面積 5,490.81㎡	・工場棟において自然採光を利用する建物設計とした。（トップライト） ・太陽光発電設備を導入した。（年間発電量39,168kWを予定） ・工場棟にLED照明設備を導入した。	・敷地南西角に自主管理公園を設置した。 ・工場立地法に基づく緑化基準値14%を超える緑地を確保した。（14.88%/1,634.66㎡）	・駐車場、駐輪場を設置した。	・敷地南西角に自主管理公園を設置した。（再掲） ・工場立地法に基づく緑化基準値14%を超える緑地を確保した。（14.88%/1,634.66㎡）（再掲） ・改変箇所においては、きんもくせい・おおむらさきつつじ等の在来種による緑化を図った。	・工事関係車両のアイドリングストップを周知、徹底した。	●	37.8kW	△						●		△コージェネ		棟番号1 ・総合評価 ★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 66%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2以上	棟番号1 ・総合評価 ★★★B+ ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 65% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5	2018/6/11	2019/3/31	2019/1/31 棟番号 用途 延べ面積	2019/5/31
						2	駐輪場	18.20	アルミ製 地上平屋建 建築面積 18.20㎡																							
						合計		7,610.52																								
004	ニッセイロジスティクスセンター横浜町田新築工事	大和市中央林間7丁目1742番7	日本生命保険相互会社 不動産部長 池田　宣之	物流センターの建設	41,524.26	1	倉庫	95,153.11	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上5階 建築面積 20,860.08㎡	・高効率ヒートポンプ空調設備を採用した。 ・LED照明器具を採用した。 ・屋根を二重構造にして断熱効果を高めた。	・芝生、草地、低木等の緑地を確保することで、気温の上昇を抑制した。 ・神奈川県みどりの協定の基準（必要緑地面積6,228.63㎡、必要公園面積1,245.72㎡）を超える緑化を行った（緑化面積6,314.63㎡、公園面積1,310.20㎡）。 ・屋根を二重構造にして断熱効果を高めた（再掲）。	・必要な駐車場、駐輪場を整備した。 ・荷さばき場を確保した。	・神奈川県みどりの協定の基準（必要緑地面積6,228.63㎡、必要公園面積1,245.72㎡）を超える緑化を行った（緑化面積6,314.63㎡、公園面積1,310.20㎡）（再掲）。 ・改変個所においては、カツラ、コナラ、ケヤキ等の在来種による緑化を図った。	・環境負荷の少ない資材を調達した。 ・敷地内アイドリングストップを励行した。	△		△						●		△コージェネ ●高効率空調設備		棟番号1 ・総合評価 ★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 72%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5以上	棟番号1 ・総合評価 ★★★B+ ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 71% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.5	2018/6/15	2019/10/5	2018/6/30 棟番号 用途 延べ面積 構造 階数 建築面積 2018/8/1 措置の内容 2019/9/1 完了予定年月日	2019/10/5
						2	駐輪場1	107.00	鉄骨造 地上1階 建築面積 107.00㎡																							
						3	駐輪場2	107.00	鉄骨造 地上1階 建築面積 107.00㎡																							
						4	守衛所1	1.80	鉄骨造 地上1階 建築面積 1.80㎡																							
						5	守衛所2	1.80	鉄骨造 地上1階 建築面積 1.80㎡																							
						合計		95,370.71																								
005	（仮称）戸塚区吉田町計画　新築工事	横浜市戸塚区吉田町778-1他	総合地所株式会社 代表取締役社長 関岡　桂二郎	共同住宅建設のため	16,496.94	1	共同住宅	36,779.65	鉄筋コンクリート造 地上7階（439戸） 建築面積 6,972.53㎡	・住宅性能評価による省エネルギー等級４を取得した。 （外壁：吹付硬質ウレタンフォーム、 屋根：硬質ウレタンフォーム保温板による断熱化を図った） ・住戸に庇（バルコニー）及びカーテンレールを設置し日射遮蔽に配慮した。 ・潜熱回収型給湯器を導入した。 ・共用部証明設備はタイマー及びセンサーによる制御を行った。 ・LED照明設備を導入した。	・植栽帯や緩衝緑地帯として、共同住宅敷地内の中庭及び道路沿いに高木等植栽を行った。 ・緑化地域制度に基づいて、緑化基準　敷地面積の10%以上の緑化を行った。 （緑化率：14.16%、緑化面積：2334.24㎡） ・住宅性能評価による省エネルギー等級４を取得した。 （外壁：吹付硬質ウレタンフォーム、 屋根：硬質ウレタンフォーム保温板による断熱化を図った）（再掲） ・住戸に庇（バルコニー）及びカーテンレールを設置し日射遮蔽に配慮した。（再掲）	・共同住宅に 駐車場　234台 （戸数比53.3%） バイク置き場　32台 （戸数比7.28%） 駐輪場　882台 （戸数比187.2%） を設置した。	・改変箇所においては、アラカシ・タブノキ・ケヤキ等の在来種による緑化を図った。 ・植栽帯や緩衝緑地帯として、共同住宅敷地内の中庭及び道路沿いに高木等植栽を行った。（再掲） ・緑化地域制度に基づいて、緑化基準　敷地面積の10%以上の緑化を行った。 （緑化率：14.16%、緑化面積：2334.24㎡）（再掲）	・アイドリングストップを励行した。 ・敷地外からの土砂の搬入を抑えるため、掘削残土の再利用を敷地内で行った。	△		△					●	●		△コージェネ		棟番号１ 【参考】 ・CASBEE横浜による総合評価 B+以上	棟番号１ 【参考】 ・CASBEE横浜による総合評価 B+	2019/3/8	2021/5/31	2020/8/16 開発事業者 区域の面積 棟番号 延べ面積 構造 建築面積	2021/2/4
						2	共用棟	170.47	木造 地上1階 建築面積 183.29㎡																							
						3	電気室棟	55.23	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積 57.32㎡																							
						4～5	バイク置場	60.03	鉄骨造 地上1階 建築面積 60.03㎡ 各棟延べ面積（計2棟） (4)31.68㎡ (5)28.35㎡																							
						6～23	駐輪場	877.38	鉄骨造 地上1階 建築面積 543.78㎡ 各棟延べ面積（計18棟） (6)　41.25㎡　(15)32.64㎡ (7)　86.33㎡　(16)35.13㎡ (8)　76.60㎡　(17)62.29㎡ (9)　76.60㎡　(18)52.33㎡ (10)　76.60㎡　(19)21.88㎡ (11)　41.25㎡　(20)50.45㎡ (12)　33.33㎡　(21)25.33㎡ (13)128.01㎡　(22)22.13㎡ (14)　5.78㎡　(23)　9.45㎡																							
						24	車寄せ	27.40	鉄骨造 地上1階 建築面積 27.40㎡																							
						25～27	回廊	129.03	鉄骨造 地上1階 建築面積 149.08㎡ 各棟延べ面積（計3棟） (25)37.50㎡ (26)53.39㎡ (27)38.14㎡																							
						合計		38,099.19																								

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要					温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※１												特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	届出の状況	
					特定開発事業を行う区域の面積（㎡）	予定建築物の概要				エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電		太陽熱利用	風力発電	バイオマス発電・熱利用	水力発電	温度差熱利用	その他									変更届	完了届等
						棟番号	用途	延べ面積（㎡）	備考							定格出力（ｋｗ）						潜熱回収型給湯器	LED照明設備	ヒートポンプ給湯器	その他設備※２	検討なし					変更（予定）年月日及び変更事項※３	完了（中止）年月日
006	（仮称）横濱ゲートタワープロジェクト	横浜市西区高島1丁目2番50他	鹿島建設株式会社 代表取締役社長 天野　裕正 住友生命保険相互会社 代表執行役 橋本　雅博 三井住友海上火災保険株式会社 代表取締役 舩曳　真一郎	西区まちづくり方針（横浜市都市計画マスタープラン・西区プラン）やみなとみらい21中央地区地区計画等の地域まちづくり計画の方針に沿い、事務所を中心とした、物販/飲食店舗、集会場、プラネタリウム等からなる複合ビルを建設する。また、隣接する横浜市立みなとみらい本町小学校敷地の一部と、本敷地内公開空地（地区施設）とを一体的に造成・整備することで、利用者の快適性・安全性向上に寄与する。	10,123.52	1	事務所 集会所(注：プラネタリウム) 飲食店 物販店 工場(注：駐車場)	83,815.05	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 地上22階、地下1階 建築面積6159.15㎡	・高層棟外装ガラス部にLow-E複層ガラスを使用し、断熱化を図った。 ・高層棟外装ACWに自然換気パネル（BCP対応）を採用した。 ・事務所には明るさセンサー/調光制御による昼光利用の導入をした。 ・照明器具はLED照明を導入した。 ・節水衛生器具を導入した。 ・地域冷暖房（DHC)を導入した。 ・太陽光発電設備を導入した。 ・ビルエネルギー管理システム（BEMS）を活用した。	・低層部3階屋上部アーバンテラスに屋上緑化を整備した。 ・「横浜市開発事業の調整等に関する条例」で定められている基準に則り、敷地面積に対する緑化面積の割合（5%以上）を超える緑化を行った。（緑化率5.1% 475.11㎡） ・高層棟外装ガラス部にLow-E複層ガラスを使用し、断熱化を図った。（再掲）	・事業の目的、用途に応じ、且つ附置義務要件を満たす、駐車台数、自動二輪駐車台数を設置した。 ・車両専用の出入り口を設置し、地下駐車場では荷捌きエリアを確保した。 ・道路待機の発生しにくい駐車場を整備した。	・「横浜市開発事業の調整等に関する条例」で定められている基準に則り、敷地面積に対する緑化面積の割合（5%以上）を超える緑化を行った。（緑化率5.1% 475.11㎡）（再掲） ・改変箇所においては、あらかし、たぶのき、あきにれ、けやき、やまざくら、うばめがし、あせび等の在来種による緑化を図った。 ・地区施設には、人々が集いにぎわいを創出するための植栽を配置した。 ・低層部3階屋上部アーバンテラスに屋上緑化を整備した。（再掲）	・アイドリングストップを励行した。 ・低燃費型建設機器を積極的に採用した。 ・リサイクル材料を積極的に採用した。	●	5.04ｋW	△						●		△コージェネ		棟番号１ 【参考】 ・CASBEE横浜による総合評価 A以上	棟番号１ 【参考】 ・CASBEE横浜による総合評価 A	2019/2/1	2021/7/31	2021/9/1 用途 延べ面積 構造 階数 建築面積 措置の内容 再エネ活用検討	2021/9/30
						合計		83,570.00																								
007	独立行政法人地域医療機能推進機構 湯河原病院 新病院建設整備事業	足柄下郡湯河原町中央2丁目21	独立行政法人 地域医療機能推進機構 湯河原病院 院長　高取　吉雄	新病院建設	18,189.84	1	病院棟	10,069.31	鉄骨造 地上3階 建築面積 4,048.60㎡	・ヒートポンプ給湯器により高効率エネルギーの利用を図った。 ・全熱交換器による排熱利用を図った。 ・LED照明器具を採用した。 ・外部建具のガラスに複層ガラスを採用し建築物の高断熱化を図った。 ・自然採光システム（トップライト、ハイサイドライト）を導入した。	・低木を整備した。 ・神奈川県みどりの協定に規定されている緑化率（開発区域面積の15%以上）を超える緑化を行った。（15.11%、2,748.18㎡） ・外部建具のガラスに複層ガラスを採用し建築物の高断熱化を図った。（再掲）	・事業の目的・用途に応じた駐車場および駐輪場を整備した。 ・歩行者が安全に通行できる歩道を整備した。	・敷地周囲の既存樹木を保持した。 ・新たな樹木の整備を行った。改変箇所においては、ヤマボウシ、ヒメシャラ、ハクモクレン、イロハモミジ、サルスベリ等の在来種による緑化を図った。 ・神奈川県みどりの協定に規定されている緑化率（開発区域面積の15%以上）を超える緑化を行った。（15.11%、2,748.18㎡）（再掲）	・建設廃棄物の発生抑制に努めた。 ・多数の工事車両が通行する際に、ピーク時間が集中しないように調整を行うことによって、建設資材等の効率的な輸送を図った。	△		△						●	●	△コージェネ		棟番号1 ・総合評価 ★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 100%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.5以上	棟番号1 ・総合評価 ★★★B+ ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 87% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0	2019/1/7	2020/4/30	2020/3/6 予定建築物の概要 （棟番号5の項削除 （以下棟番号繰上げ）、延べ面積の合計） 措置の内容	2020/4/13
						2	機械附属棟１	77.95	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積 77.95㎡																							
						3	機械附属棟２	7.01	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積 7.01㎡																							
						4	ポンプ室	8.00	鉄骨造 地上1階 建築面積 8.00㎡																							
						5	倉庫１	9.30	鉄骨造 地上1階 建築面積 9.30㎡																							
						6	倉庫２	6.21	鉄骨造 地上1階 建築面積 6.21㎡																							
						7	倉庫３	3.95	鉄骨造 地上1階 建築面積 3.95㎡																							
						合計		10,181.73																								
008	（仮称）大和市つきみ野1丁目　新築工事	大和市つきみ野一丁目6番9及び同番26	名鉄不動産株式会社 代表取締役 前田　由幸 近鉄不動産株式会社 取締役副社長首都圏事業本部長 田中　孝昭 京阪電鉄不動産株式会社 代表取締役 道本　能久 JR西日本プロパティーズ株式会社 代表取締役 森　克明	共同住宅建築の為の開発事業	22,840.05	1	共同住宅 （A～E棟）	48,150.84	鉄筋コンクリート造 地上14階 （604戸） 建築面積 5,468.88㎡	・住宅性能評価による省エネルギー等級４を取得した。 （外壁：吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ、 屋根：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板、押出し法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑにより断熱化を図った） ・住戸に庇（バルコニー）及びカーテンレールを設置し日射遮蔽に配慮した。 ・潜熱回収型給湯器を導入した。	・大和市開発事業の手引き、及び基準に関する条例で定められている敷地面積に対する緑地面積の割合18%を上回る緑地を設置した。緑化率：21.7%、緑地面積：4976.34% ・共同住宅敷地内の中庭、及び接道沿いに高木等の植栽を配置した。 ・住宅性能評価による省エネルギー等級４を取得した。 （外壁：吹付け硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ、 屋根：硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板 により断熱化を図った）（再掲） ・住戸に庇（バルコニー）及びカーテンレールを設置し日射遮蔽に配慮した。（再掲）	・共同住宅に駐車場608台（戸数比100%以上）、駐輪場622台（戸数比100%以上）を設置した。	・大和市開発事業の手引き、及び基準に関する条例で定められている敷地面積に対する緑地面積の割合18%を上回る緑地を計画した。緑化率：21.7%、緑地面積：4976.34%（再掲） ・共同住宅敷地内の中庭、及び接道沿いに高木等の植栽を配置した。（再掲） ・改変個所においては、あらかし、くすのき、くろがねもち等の在来種による緑化を図った。	・アイドリングストップを励行した。 ・敷地外からの土砂の搬入を抑えるため、掘削残土の再利用を敷地内で行った。 ・製造、廃棄時にCO2排出量が少ない建設資材を使用した。	△		△					●	●		△コージェネ		棟番号1 ・総合評価 ★★★B+以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 70%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0以上 棟番号3 ・総合評価 ★C以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 95%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.0以上	棟番号1 ・総合評価 ★★★B+ ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 60% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0 棟番号3 ・総合評価 ★C ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 95% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア2.0	2019/2/15	2021/2/28	2019/9/1 開発事業者 2021/3/31 区域の面積 棟番号 用途 延べ面積 構造 階数 建築面積 措置の内容 措置及び評価の目標	2021/5/26
						2	共同住宅 （F棟）	260.64	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積 379.47㎡																							
						3	自走式駐車場	9,588.56	鉄骨造 地上5階 建築面積 1,925.76㎡																							
						4	電気室	34.50	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積 34.50㎡																							
						5	ポンプ室	18.00	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積 18.00㎡																							
						6～8	回廊	63.65	鉄筋コンクリート造 地上1階 建築面積 63.65㎡ 各棟延べ面積（計3棟） (6)37.03㎡ (7)11.66㎡ (8)14.96㎡																							
						9～12	バイク置場	88.78	鉄骨造 地上1階 建築面積 88.78㎡ 各棟延べ面積（計4棟） (9)42.32㎡ (10)19.32㎡ (11)14.72㎡ (12)12.42㎡																							
						13～47	駐輪場	1,275.66	鉄骨造 地上1階 建築面積 1,275.56㎡ 各棟延べ面積（計35棟） (13)52.63㎡　(31)35.91㎡ (14)35.91㎡　(32)38.00㎡ (15)38.00㎡　(33)42.18㎡ (16)23.37㎡　(34)46.36㎡ (17)8.74㎡　(35)15.01㎡ (18)56.81㎡　(36)12.92㎡ (19)54.72㎡　(37)106.97㎡ (20)54.72㎡　(38)106.97㎡ (21)58.90㎡　(39)63.08㎡ (22)17.10㎡　(40)19.19㎡ (23)48.45㎡　(41)15.01㎡ (24)6.65㎡　(42)50.54㎡ (25)17.10㎡　(43)50.54㎡ (26)19.19㎡　(44)25.46㎡ (27)10.83㎡　(45)6.65㎡ (28)10.83㎡　(46)6.65㎡ (29)10.83㎡　(47)4.56㎡ (30)104.88㎡																							
						合計		59,480.63																								

番号	特定開発事業の名称	特定開発事業を行う土地の位置及び区域	特定開発事業者	特定開発事業の目的	特定開発事業の概要					温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※１												特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の目標	特定建築物に係る地球温暖化対策の措置の評価の結果	工事の着手予定年月日	工事の完了予定年月日	届出の状況	
					特定開発事業を行う区域の面積（㎡）	予定建築物の概要				エネルギー使用の合理化	ヒートアイランド現象の緩和	交通環境への配慮	緑の保全と創出	工事に係る配慮	太陽光発電		太陽熱利用	風力発電	バイオマス発電・熱利用	水力発電	温度差熱利用	その他									変更届	完了届等
						棟番号	用途	延べ面積（㎡）	備考							定格出力（kw）						潜熱回収型給湯器	LED照明設備	ヒートポンプ給湯器	その他設備※２	検討なし					変更（予定）年月日及び変更事項※３	完了（中止）年月日
009	（仮称）フォルテ秦野店新築工事	秦野市曽屋字清水窪1204-1の一部　他10筆	株式会社ベルク代表取締役社長　原島　一誠	物販店舗建設に伴う開発事業	15,703.24	1	物販店	15,085.02	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上2階、地下1階 建築面積 8,751.04㎡	・全棟において、積極的にLED照明を採用した。	・敷地内において、地上緑化、屋上緑化、壁面緑化を実施した。 ・秦野市まちづくり条例（規定）で定められている敷地面積に対する緑化面積の割合20%を上回る緑地を計画した。（20.16%、3,027.07㎡）	・必要な駐車場・駐輪場を設置。 ・荷捌き場を確保した。	・敷地内において、地上緑化、屋上緑化、壁面緑化を実施した。（再掲） ・秦野市まちづくり条例（規定）で定められている敷地面積に対する緑化面積の割合20%を上回る緑地を計画した。（20.16%、3,027.07㎡）（再掲） ・改変箇所においては、キンモクセイ、野芝等の在来種による緑化を図った。	・低燃費型建設機械を積極的に採用した。 ・アイドリングストップを励行した。	△		△						●		△コージェネ		棟番号1 ・総合評価 ★★B-以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 60%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0以上	棟番号1 ・総合評価 ★★B- ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 80% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア1.5	2019/3/1	2019/11/1	2020/6/29 棟番号 用途 延べ面積 構造 階数 建築面積 措置の内容	2020/8/1
						2	倉庫	9.01	鉄骨造 地上1階 建築面積 9.01㎡																							
						合計		15,094.03																								
010	JA神奈川県厚生連相模原協同病院移転新築工事	相模原市緑区橋本台四丁目1711番4	神奈川県厚生農業協同組合連合会代表理事理事長　高野　靖悟	病院建設	73,948.86	1	病院（第1工区）	31,206.38	鉄筋コンクリート造、一部、鉄骨造、鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階 建築面積 12,005.56㎡	・BEMSを導入し、エネルギー消費に配慮した。 ・LED照明設備を導入した。 ・Low-Eガラスを使用し、断熱化を図った。 ・構造躯体を庇及びルーバーとして活用し、日射遮蔽を図った。	・隣地とは十分な距離をとり、風の通り道も確保を図った。 ・Low-Eガラスを使用し、断熱化を図った。（再掲） ・構造躯体を庇及びルーバーとして活用し、日射遮蔽を図った。（再掲） ・景観法第16条の規定に基づく、接道長さに対する接道緑化長さの割合を1/3以上とした。（【接道長さ45.59m】×1/3=15.20m＜【接道緑化長さ28.23m】）。	十分な敷地の広さを活かし、必要十分な駐車場等の施設の確保した。	・敷地北側部分の既存樹木を積極的に保存した。 ・景観法第16条の規定に基づく接道長さに対する接道緑化長さの割合を1/3以上とした。（【接道長さ45.59m】×1/3=15.20m＜【接道緑化長さ28.23m】）（再掲）。 ・改変箇所においては、くろがねもち、やまぼうし、そよご、あじさい等の在来種による緑化を図った。	アイドリングストップ等の省エネ運転・機械操作を実施した。	△		△						●		△コージェネ		棟番号1 ・総合評価 ★★★★A以上 ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 60%以下 ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア4.0以上	棟番号1 ・総合評価 ★★★★A ・地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率 92% ・ヒートアイランド現象の緩和 スコア3.0	2019/3/16	2020/10/31	2020/8/25 区域の面積 棟番号 用途 延べ面積 構造 階数 建築面積	2020/11/30
						2	ポンプ室（第1工区）	23.10	鉄造 地上1階 建築面積 23.10㎡																							
						3	マニホールド室（第1工区）	17.50	鉄骨造 地上1階 建築面積 17.50㎡																							
						4	ゴミ庫・倉庫（第1工区）	155.40	鉄骨造 地上1階 建築面積 155.40㎡																							
						5	救急車庫（第1工区）	36.81	鉄骨造 地上1階 建築面積 25.21㎡																							
						6	キャノピー１（第1工区）	0.00	鉄骨造 地上1階 建築面積 121.25㎡																							
						7	キャノピー２（第1工区）	0.00	鉄骨造 地上1階 建築面積 121.46㎡																							
						8	駐車場１（第1工区）	63.17	鉄骨造 地上1階 建築面積 33.09㎡																							
						9	駐車場２（第1工区）	63.17	鉄骨造 地上1階 建築面積 33.09㎡																							
						10	キャノピー３（第1工区）	131.10	鉄骨造 地上1階 建築面積 183.73㎡																							
						11	バス停（第1工区）	43.17	鉄骨造 地上1階 建築面積 43.17㎡																							
						12	院内保育所（第1工区）	167.65	鉄骨造 地上1階 建築面積 170.86㎡																							
						13	イベントスペース（第1工区）	33.12	鉄骨造 地上1階 建築面積 33.12㎡																							
						14	病児保育棟（第1工区）	83.35	鉄骨造 地上1階 建築面積 83.35㎡																							
						15	付加機能等（薬局）（第2工区）	550.40	鉄骨造 地上1階 建築面積 611.02㎡																							
						合計		32,574.32																								

※１　再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果の表記の説明

△：検討を行った設備

●：検討を行い、導入を予定している設備

※２　「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果」の「その他設備」欄における表記の説明

高効率空調設備：ヒートポンプ技術を用いた高効率の空気調和設備

LPガス自動車：ディーゼル代替LPガス自動車

コージェネ：コージェネレーションシステム（ガスエンジン給湯器及び燃料電池以外で、エネルギー消費効率の高いものに限る。）

EMS：エネルギーマネージメントシステム（エネルギー消費量の計測、記録及び表示並びにエネルギー利用設備の制御を行う機能を有するものに限る。）

※３　「届出状況」の「変更届」欄における変更事項の表記の説明
措置の内容：温室ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容

再エネ活用検討：再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果に変更があった場合

措置及び評価の目標：特定建築物に係る地球温暖化対策の措置及び評価の目標に変更があった場合